

## II 暮らしの向上

### 6 文化の振興

主担当部局長名  
地域振興部長 村田 崇

#### 目指す姿

奈良の歴史文化の魅力や背景を分かりやすく伝えることや質の高い文化芸術イベントを実施することにより、文化力を高めるとともに、文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、活動の裾野拡大を図ります。また、文化資源を活用したにぎわいづくりによる地域活性化を進めます。

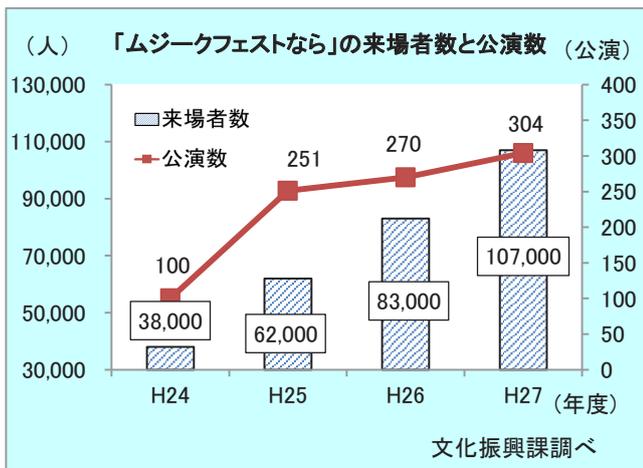


ミュージックフェストなら2015

#### これまでの成果

- ・県立ジュニアオーケストラは、定期演奏会や「奈良県大芸術祭」「奈良の木づかいフェスタ」等で演奏活動を実施したほか、「ミュージックフェストなら2015」で「ロシア・ナショナル管弦楽団」との共演も行いました。
- ・「奈良・町屋の芸術祭はならあと2015」では、空き町屋等地域資源の活用や、地域の魅力向上を図ったことにより、平成27年度の総来場者は56,300人と、平成26年度より11,500人増加しました。
- ・文化・芸術の振興に関する総合的・戦略的な施策を推進するため、平成28年3月に奈良県文化振興有識者会議を設置しました。また、地域が大切にしたい歴史文化資源を網羅し、県が歴史文化資源活用施策の基とするデータベース構築の考え方を整理しました。

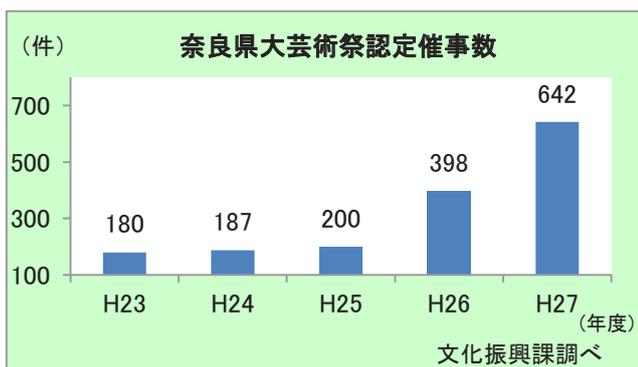
#### 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	奈良の歴史文化の情報発信や奈良らしい文化芸術イベントを実施し、県内外からの交流を活発にすることにより、県内の文化関連消費を高めま
取組	「ミュージックフェストなら2015」を開催しました。
成果	「ミュージックフェストなら2015」では、上質な文化・芸術に触れる機会を県民に提供するとともに、地元で活躍する音楽家にも出演の機会を提供することで、県内の文化芸術活動の活性化を図りました。また、広報の充実や県民への周知が進んだことより、来場者数が平成26年度の約83,000人から平成27年度には約107,000人に、公演数も平成26年度の270公演から304公演に増加しました。

#### 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①文化芸術活動の活発な県として、県内外からの関心を高めま
	②老若男女の様々な層の文化芸術活動の活発化により、県民の文化芸術に対する満足度を高めま
	③文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、県民だれもが、県内各地で文化芸術に接する機会を創ります。



取組	「新たな文化活動チャレンジ補助金」の交付や奈良県大芸術祭での催事認定により、文化芸術団体への支援の拡充・強化を行いました。(③)
成果	奈良県大芸術祭では、広報の強化等により、平成25年度の3倍以上の642催事を認定し、文化芸術に県民が接する機会を増大しました。